

HSK

会報「石川守る会」

NO.106

石川県重症心身障害児（者）を守る会  
全国重症心身障害児（者）を守る会  
石川県支部 会長 永井 一郎

記録的な猛暑！ 地震に続き能登をおそった豪雨！

元日に起きた地震の復旧に取り掛かったばかりの能登をおそった豪雨、テレビや新聞の報道を見ても余りに甚大な被害の様子に胸が締め付けられるようでした。

もう個人や自治体の力だけで立て直すことは無理な状況です。国や県が迅速に対応して、1日も早く通常の暮らしに戻れるように願っています。

被災状況やご要望などがあれば役員までお知らせください。

(会長 永井さん Tel 076-221-6822

事務局長 紺井さん Tel076-288-5413)

ご存じのように「全国重症心身障害児（者）を守る会」創立60周年記念大会が天皇・皇后両陛下のご臨席の下9月28日～29日に開催されました。

陛下からも能登地方の大雨の被害者に対するお言葉がありました。

## 創立 60 周年記念大会が開催される！

9 月 28 日（土）～29 日（日）東京で「全国守る会」の「創立 60 周年記念大会」が開催されました。石川からは永井会長、紺井事務局長、松田郁夫理事、西田理事が参加しました。

28 日の式典には天皇陛下・皇后陛下のご臨席を頂きました。陛下はお言葉の冒頭で能登の大雨で犠牲になった皆さんに哀悼の意を示され、被災者の皆さんには「安心できる生活が一日も早く戻ることを願っています。」と述べられました。

また、本会の活動に敬意を表され「重い障害のある人がかけがえのない人生を豊かに生きていくことのできる社会が続いていくことを」望まれました。

両陛下とも重症心身障害児の親たちの体験談にもうなずきながら耳を傾け、拍手を送られていました。参加者との交流ではコロナ禍での面会制限についてきづかわれたりと、皇后陛下は車椅子で参加した中学生に学校で好きな教科などを尋ねておられました。

その後来賓として加藤鮎子内閣府こども制作担当大臣、武見敬三厚生労働大臣、盛山正仁文部科学大臣、小池百合子東京都知事が祝辞を述べられました。

在宅と施設入所の親から体験発表もありました。

式典の最後に重症心身障害児の親の代表による「ちかいの言葉」の発表もありました。

### ちかいの言葉

本日、ここに天皇陛下のご臨席を仰ぎ、「全国重症心身障害児（者）を守る会創立 60 周年記念大会」を開催するにあたり、参加者を代表いたしまして、「ちかいの言葉」を申し上げます。

昭和 39 年、1964 年 6 月、当時、「障害が重く、社会の役に立たない者に国のお金は使えません」と言われていた時代に、北浦ご夫妻とともに重い障害のある子の親たちは、やむにやまれぬ思いで本会を設立いたしました。以来、幾多の困難を乗り越え、このたび 60 周年を迎えることができました。

この間、「最も弱いものをひとりももれなく守る」を基本理念として、この子らをどのように守っていくかを真剣に考え、社会の共感を得る運動を進めてまいりました。

お蔭様をもちまして、今日、重症心身障害児者の医療・福祉・教育は大きな進展を遂げ、在宅においても施設においても心豊かに生活できる環境が整ってまいりました。これもひとえに社会の皆様のご理解とご支援、そして専門の先生方をはじめ行政機関や関係の皆様方のお力添えによるものと厚く御礼申し上げます。

近年、医療の進歩により、濃厚な医療的ケアを必要とする重症心身障害児者も在宅で生活ができるようになってきましたが、家族の負担は大きく、親の高齢化による介護の不安、そして医療・福祉分野における人手不足も深刻化しています。

このような中で、私たちは、親自らの責任と義務を果たすとともに、懸命に生きている重症心身障害児者一人ひとりが安心して暮らせる社会となるよう、更なる施策の充実に求め、活動を進めてまいりたいと存じます。

これからも、重症心身障害児者のみならず様々な病気・障害、社会的養護を必要とする人たちや貧困など、弱い立場の人々の生きる権利と幸せを守るため、皆様と力を合わせてまいりますことをここに誓います。

令和6年9月28日

全国重症心身障害児(者)を守る会  
創立60周年記念大会

感謝の集いではまず「守る会」の活動に長年に渡って支援頂いている9団体の皆さんに感謝状と記念品が贈呈されました。

その後はおいしい食事と飲み物をいただきながら交流を深めました。

2日目 特別講演 講師 村木 厚子氏

演題 支えること 支えられること

元厚生労働省の職員で現在は全国社会福祉協議会会長、中央共同募金会会長、全国老人クラブ連合会会長・・・など様々な活動に携わっておられる。

2009年郵便不正事件で有印公文書偽造などの罪に問われ逮捕・起訴されるが、2010年に無罪が確定して復職する。

講演の概要

まずは全く身に覚えのない罪で逮捕され、拘置所に勾留された状況から話された。手錠や腰縄を掛けられた時の気持ちや人権無視の拘置所の様子、その中での生活について冗談もまじえながら話されました。そんな理不尽な立場に置かれたときには

- ・プロの支援「弁護士等による課題解決型支援、伴走型支援」
- ・インフォーマルな支援「家族、友人、同僚等々」

両方の支援が必要

福祉の新しい流れ

- ・自立とは・・・たくさんのものに少しずつ依存できるようになることである。
- ・誰一人取り残さない・・・鎖はいちばん弱いところで切れる。一番弱い所を守る。
- ・みんなで取り組むために私たちにできることは

「聞く、伝える」 「つながる(横、縦)、つなげる」

「役所と付き合う」 「元気で活動する」



## 第34回東海・北陸ブロック大会

日・時 令和6年11月9日(土)13:30～10日(日)12:00

場 所 富山市 オークスカナルパークホテル富山

テーマ 重症心身障害児のライフスタイルの多様化

### 1日目

14:00～15:00 式典

15:30～17:00 「基調講演」 講師 阿部 美穂子先生

テーマ:きょうだいの思いに向き合う ～家族QOLの原点から～

18:00～20:00 懇親会

### 2日目

9:45～11:45 シンポジウム「重症心身障害児者のライフスタイルの多様化」

11:45～11:55 次期開催県の挨拶 岐阜県

閉会の挨拶

- ・今年のブロック大会は富山県と近いのでぜひご参加ください。
- どちらか1日だけの参加でもよいのでご検討ください。

尚、参加を希望される方は紺井さん(076-288-5413)まで連絡下さい。

### 9がつは行事が目白押しでした。

9月28日・29日に・重症児者の防災キャンプや・石川県障害者フェスティバルなど行事が重なり、みんなで分担して参加しました。ご苦労様でした。  
今回は全国大会の報告しか出来ませんでしたが、他の行事の報告は次号でお知らせする予定です。



|     |                                             |
|-----|---------------------------------------------|
| 編集人 | 石川県重症心身障害児(者)を守る会                           |
| 連絡先 | 920-1154 石川県金沢市太陽が丘3-19<br>Tel.076-221-6822 |
|     | 会長 永井 一郎                                    |
| 発行人 | 北陸障害者定期刊行物協会<br>富山市今泉312番地                  |
| 定 価 | 30 円                                        |